

尚綱の原点と未来

「錦を衣て綱を尚ふ」

尚綱

華やかな錦の衣装を着てもそれを直接表に表さない謙虚で奥ゆかしい心構えを持つ女性の徳をうたった言葉です。

1888年

(明治21年)

佐々友房らにより済々黌附属女学校として創立。



創立者 佐々友房



初代校長 内藤儀十郎

1889年

(明治22年)

昭憲皇太后より御歌を下賜される

1891年

(明治24年)

済々黌より独立し尚綱女学校と改称

1920年

(大正9年)

現在の九品寺に移転

1928年

(昭和3年)

尚綱中学・高等学校の旧制服を制定



制服制定

1929年

(昭和4年)

尚綱五箇条を制定



1931年

(昭和6年)

県下女学校の代表として昭和天皇行幸



天皇行幸



天皇行幸記念館

1940年

(昭和15年)

現在の中学・高等学校の校旗を制定



1947年

(昭和22年)

学制改革により尚綱中学校発足

1952年

(昭和27年)

熊本女子短期大学開学家政科を設置

1960年

(昭和35年)

創立70周年記念事業として体育館落成



九品寺体育館

1967年

(昭和42年)

熊本女子短期大学家政科を家政科家政専攻と家政科食物栄養専攻に分離

1968年

(昭和43年)

熊本女子短期大学幼児教育科を楡木キャンパスに設置

1969年

(昭和44年)

熊本女子短期大学附属幼稚園開園



尚綱大学楡木1号館

1975年

(昭和50年)

尚綱大学開学、文学部(国文学科・英文学科)を設置
熊本女子短期大学を尚綱短期大学、同附属幼稚園を尚綱短期大学附属幼稚園に改称



1985年

(昭和60年)

全国植樹祭にて昭和天皇の御前でマンドリンの演奏を披露
昭和天皇より御製を下賜される

1988年

(昭和63年)

尚綱高等学校管理棟落成
創立100周年記念式典挙行



尚綱中高校1号館